研究計画に向けた先行研究、予備実験・調査シート

○このプリント両面について、本日より分担して作成を進めること。

第１回提出日：○ /○（○）ゼミ終了時（班で１枚にまとめる）

先行研究シートは完成させる / 予備実験シートは書けるところを書く

第２回提出日：○ /○（○）中間発表会の前の探究の時間終了時（班で１枚にまとめる）

○「借用書」（國雲先生へ）と「購入希望書」（ゼミ担当者へ）は今後も提出可。

外部調査等の申請（ゼミ担当者へ）には別紙を用いること。

＜先行研究＞

先行研究をふまえ、対象やプロセスを変えたり、結果を応用させたり、まだ十分に明らかでないことに注目したりすると、意義が大きな研究となる。(同じテーマであっても、対象物を変えたり、実験手順を変更することでやや新規性のある研究にすることもできる。)

○GoogleScholar や、J-STAGE などの論文検索エンジンを利用しよう。

※ポスターを作成する際、**参考文献がネット記事のみという研究は認められない。盗用は厳禁。**

○研究分野についての**読みやすい入門書**を読んでみよう。(自分で購入するか、図書館を利用)

○高校生（他の SSH 校の生徒など）が行った研究は参考にしやすい。＊前高 HP に先輩のポスターが掲載

○得られた情報の概要を以下に整理するほか、印刷物や写真**（ロイロノート添付）**でも保存し、班で共有しよう。

No.	情報源 調べた人	著者・出版社 出版年	「タイトル」・参考になる情報、新たにできた問い　等
例	CiNii 上村	大森 昭生ほか 共愛学園前橋国際大学 2018 年	「群馬県前橋市における地域認識と地域への愛着②」 ・大学生に比べて地域住民の方が「地域愛着」などの各因子の得点が有意に高かった
1			
2			
3			
4			
5			

班長氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　文・理・文理・探総　＿＿＿＿班

＜予備実験･調査＞

１回の実験を行っただけでは、十分な課題研究とするのは難しい。「簡単な予備実験を計画・実施→結果の考察・必要な調査等→次の実験の計画・実施→」と**２回以上のサイクルを回す**ことを今年度の目標としたい。以下について書けるところから書いていこう。

なお、実験については学校にあるものや 100 円ショップで各自購入した者で行うこと。本格的な実験は備品消耗品を提出したのち行うものとする。調査についても、校内へのアンケートや外部へのインタビュー等は行わず、簡易的な聞き込みや既存の調査を使用すること。

4（Sレベル）	3（Aレベル）※基準	2（Bレベル）	1（Cレベル）
□先行研究を踏まえた予備実験を行った。 □複数回の予備実験を行い，研究に活かせそうなデータが得られた。 □予備実験を全班員で分担し，協力して行った。	□単発の予備実験を行い，研究に活かせそうなデータが得られた。 □予備実験を一人もしくは限られた班員で行った。 □予備実験の記録が研究ノートやドライブ等に保存されている。	□簡単な予備実験を計画できた。 □簡単な予備実験を行った。	□予備実験を計画しなかった。 □予備実験ができなかった。

※複数回の予備実験を行う場合は、縦に区切るか２枚目を用いること。

1. 予備実験を行う上で特に参考とする先行研究の内容

2. 予備実験の方法の概要

3. 予備実験を実施する日時(期間)･場所

4. 班員ごとの作業分担(重要)

5. 結果の概要と考察(詳細をロイロノートやドライブ等に保存)

班長氏名　　文・理・文理・探総　　班